



(公社) 岐阜県理学療法士会 広報誌

<http://gifu-pt.jp/>

らいちょう

2022
No.141



第 32 回 岐阜県理学療法学会学術集会 準備委員

目次

巻頭言	各部・委員会からの報告	3
ふれあうことのできる学術集会を	会員の声	9
令和3年度(公社)岐阜県理学療法士会	賛助広告	12
第4回理事会 議事録(要約)	賛助会員	17

ふれあうことのできる学術集会を

第 32 回岐阜県理学療法学会学術集会

会長 長谷部 武 久

皆様に一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の終息を見通せない状況のなか、本症へ対応しながらも臨床・研究・教育活動に取り組まれている会員の皆様に敬意を表するとともに、ご健康をお祈り申し上げます。

そして、第 1 回岐阜県理学療法学会が平成 2 年に開催され、30 余年にわたる伝統ある本学会を担当させていただくことは誠に光栄であり、深く御礼申し上げます。

令和 4 年 6 月 26 日（日）の日程で「じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）」にて開催の「第 32 回岐阜県理学療法学会学術集会」は、「岐阜県理学療法学会」から名称を変更し、その開催時期を 6 月とする初めての学術集会となります。緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置がいつ発出されるかわからない状況下ではありますが、対面形式での開催に向けて鋭意準備を進めております（4 月下旬時点）。

本学術集会は、高齢社会と医療・福祉の要請に理学療法が応えるべく「これまでに明らかにされた知見からその実践へのつなぎ」、「先人から未来を担う若手理学療法士へのつなぎ」、「ポストコロナにおける次世代への命のつなぎ」、この「3 つのつなぎ」をキーワードとして、トランスレーショナルな学術集会を目指します。そのような思いを込めて、学会テーマを「理学療法がつなぐ命」といたしました。特別講演は、名古屋大学名誉教授の佐藤祐造先生に、糖尿病に対する運動療法の第一人者としてのお立場から「糖尿病運動療法 ～基礎と臨床～」と題して、貴重な知見の数々とその実践についてご講演いただきます。また、演題数は 37（一般 23 症例 14）を予定しており、そのすべてを口述発表で行います。またその中から優秀演題候補である「セレクション演題」を選出し、メイン会場にて発表していただきます。

研究成果を発表する晴れ舞台としての「場」。緊張感や熱意を感じられる「場」。発表や講演を通じて知識を身につける「場」。多くの人と交流ができる「場」。

私は、学術集会とは人との距離を縮め、「相手と共にある」「私は今この人とともに何かをしている」と感じることができる場、ふれあうことのできる場であるべきだと考えています。ですので、この第 32 回岐阜県理学療法学会学術集会を、会員の皆様がふれあうことのできる場にしたい！ 多くの方々にご参加いただくとともに、会員の皆様にとって有意義な学術集会になることを願ってやみません。

予定通り、会場にてお会いできますことを準備委員一同、心より楽しみにしております。



**令和 3 年度
(公社) 岐阜県理学療法士会
第 4 回理事会 議事録 (要約)**

日時：令和 4 年 2 月 5 日（土）14 時 00 分より

場所：岐阜県水産会館・Web ハイブリッド開催

出席：村雲憲、舟木一夫、河合克尚、田中利典、
小野晶代、田島嘉人、岩島隆、岸本泰樹、
臼井美由紀、三川浩太郎、久保田将成、棚橋
一憲、有田志保美、大場かおり、伊藤友紀、
吉井秀仁

議題 1：会長及び常任理事報告

議題 2：新入会員の承認→ 4 名承認

議題 3：令和 3 年度補正収支予算案

収支相償、公益事業比率は基準を満たして
いたが、コロナによる事業中止の影響
で有休財産に関しては満たすことができ
ず、2 次補正予算を実施
封筒・P C・フェア用備品・新入会員用
備品（U S B）を購入
→承認

議題 4：令和 4 年度事業計画案

前回理事会から変更なし→承認

議題 5：令和 4 年度予算計画案

前回の理事会で承認された予算案を基に
会計事務所に公益 3 大基準を試算して
もらった結果、全て基準を満たしている
→承認

議題 6：臨床実習指導者講習会講師料の件

講師料支払い対象を現行の臨床世話人だ
けではなく、開催校以外の養成校教員も
加える件、講師料支払い基準を複数名の
助手扱いではなく、独立した助手として
の扱いを変更したい
→承認

＜各部・委員会からの報告＞

厚生部より

厚生部では会員の皆様の福利厚生で、ご結婚の際にカタログギフトを贈呈しています。

※結婚届を申請する場合は、連絡のとれる電話番号の記載をお願いしています。

何らかの確認でお電話を差し上げることがありますので、必ず連絡のとれる番号をご記入願います。058－276－7755 から番号通知しておかけします。ご協力をお願い致します。

厚生部では、下記の内容を実施しております。

- 1) 災害見舞金 会長の判断による。
- 2) 結婚のお祝い 会員の結婚に際しお祝いの品(カタログギフト)を贈る。
(本人または他会員の申請による)
- 3) 弔電 会員の両親、配偶者、子供死亡の場合は弔電。
会員外は会長が認めた場合。
- 4) 供花 会員本人に不幸があった場合、供花を供える。
- 5) イベント助成 会員有志によるスポーツ大会などの助成。
企画型) フットサル等 多人数で行う競技の助成
参加型) マラソン等 個人競技

上記以外にもご意見・要望、不明な点がございましたらご連絡ください。

連絡先

〒500－8288

岐阜県岐阜市中鶯2丁目99番地

TEL 058－276－7755 FAX 058－276－7733

介護老人保健施設 喜の里

名和 敏晃



教育部より

～本年度予定～

教育部は新人教育プログラム研修会から刷新された新生涯学習制度における前期研修を担当します。本年度も制度の改定および感染症の影響から例年と異なる方法で準備を進めております。日本理学療法士協会が運営する e-ラーニング での受講もお勧め致します（詳細につきましては日本理学療法士協会ホームページをご確認頂きますようお願い致します）。

本年度における前期研修の開催予定は詳細が決まり次第、追って連絡します。（前期研修は全国どこでも履修は可能です。）随時、岐阜県理学療法士会ホームページをご確認下さい。

なお、受講登録は日本理学療法士協会 ホームページ マイページよりお願い致します。

5月27日（金）19時よりオンラインにて新卒者を対象とした「新入会オリエンテーション」を行います。本オリエンテーションでは、日本理学療法士協会および岐阜県理学療法士会について、入会方法、新生涯学習制度（特に前期研修）について説明する予定です。新卒者および入会を検討している方は積極的にご参加ください。なお、本オリエンテーションの詳細については岐阜県理学療法士会ホームページ等でお知らせいたします。

「GPTA 第4回合同症例検討大会」

教育部主催にて、症例検討大会を行っております。数年前まで、各支部において症例検討会が年に数回実施されていまして、それらを統合し、一日で学会形式のように行っております。昨年はオンラインで開催したこともあり、県内外含め非常に多くの方にご出席頂きました。本年度も同様にオンラインで開催する予定です。発表者は4～5名程度を予定しておりますので、発表・ご参加の程、よろしくお願い致します。本症例検討大会は前期研修におけるD-2、後期研修におけるE領域に該当します。

なお感染状況によって講習自体が中止となる可能性もあります。随時、ホームページをご確認ください。

教育部員を募集しております。現在5名で活動しております。興味のある方は下記アドレスまでご連絡下さい。

「gifushinpuro_2012@yahoo.co.jp」

教育副部長 澤村 彰吾



学術局の紹介

教育部

～前期研修 お支えます～

皆様こんにちは!! 教育部を担当しています、澤村彰吾です。

いよいよ来年度から新生涯学習制度がスタートします!

教育部では現在5名(以下記載)で前期研修を担当し、皆様の履修をお支えするのが主な仕事です。皆様に受講しやすいよう計6回/年実施しています。また、GPTA 合同症例検討大会も開催しております。前期研修・症例検討大会につきましては、岐阜県理学療法士会のホームページをチェックしてみてください。早めの履修をお勧めします。是非、ご参考下さい。

部長：木村 英司(中部国際医療センター)

部員：澤村 彰吾(平成医療短期大学)

古川 元康(中濃厚生病院)

森 道德(老人保健施設 城山)

河島 旭(中部国際医療センター)



教育部では5名程部員を募集しています。興味のある方は

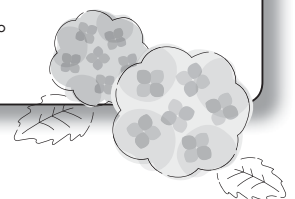
E-mail: gifushinpuro_2012@yahoo.co.jp まで。

学術出版部

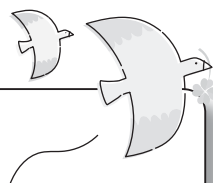
学術誌出版部の田畑亜実です。この部署では毎年、2月から3月頃に岐阜県理学療法士学術誌を出版しております。この学術誌は、理学療法士の先生方が臨床や地域で研究し、発表された演題が載せられます。発表された演題は、募集要項対象の方であれば学術誌出版部へ投稿して頂けます。投稿された論文は、不備の有無を査読という形で先輩先生方に確認して頂いております。

このように学術誌出版部では多くの先生方に協力して頂いております。このように作成された学術誌は毎年岐阜県理学療法士会員の方へ配布しております。

今年度までは紙ベースでしたが、来年度より電子化とさせていただきます。学術誌の発刊は今後も継続して行いますので、これからも学術誌出版への協力をよろしくお願い致します。



研 修 部

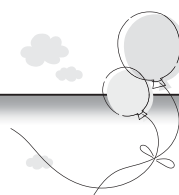


研修部では、年 1 回の県民公開講座と、年 2 回の研修部主催の研修会の開催と運営を行っています。岐阜県民の方々や会員みなさんに、医療やリハビリテーション、理学療法等に関する新しい情報を発信していきます。

笠野 由布子

生涯学習部

生涯学習部の小久保晃です。部が発足して担当させていただき 4 年目となります。これまで県外から多くの講師を招聘させていただき県内の理学療法士会員の研鑽となるよう尽力しております。各地域の先生方にご助力をいただきながら運営が成り立っております。少数精鋭で運営しております。研修会企画などに興味がある方、是非賛助いただける方がお見えであればご協力頂きたいと思えます。興味がある方ご連絡お待ちしております。



講習会部

活動内容：講習会の計画、運営

2021 年度は 8 月、10 月、12 月の計 3 回講習会を実施しました。

新型コロナウイルスの流行により、2021 年度はすべてオンラインで実施しております。

大学の教授や運動療法についての本を執筆された方など、著名な先生方にご講演いただいております。運営側である私たちも貴重な体験をさせていただきました。

2022 年度は日本理学療法士協会からの要請により、1 度のみの開催となりました。10 月にオンラインでの講習会を予定しておりますので、ぜひ奮ってご参加ください。

また、講習会部では部員を募集しております。

運営に携わりたい方、著名な先生方と交流を深めたい方はぜひお声かけください。

部長：児島 良典（羽島市民病院）

部員：国枝 真子（羽島市民病院）

赤座 和樹（羽島市民病院）

成田 学（森整形外科リハビリクリニック）

番由 紀奈（木沢記念病院）



< 会 員 の 声 >

理学療法と出会って

社会福祉法人伝心会

特別養護老人ホームやすらぎ苑

平 子 義 信

私は羽島市の特別養護老人ホーム『やすらぎ苑』にて、機能訓練指導員として働いています。当苑は羽島市が最初に設置した特別養護老人ホームで、約30年の歴史があります。所在地は羽島市南部の本曾川堤防に面し、広大な敷地を有しています。また庭園には桜や藤、ツツジ等が植えてあり、歩行訓練にて屋外を散歩すると季節の花を楽しめます。定員は従来型施設が50名、ユニット型が30名、ショートステイが20名の合計100名で、デイサービスと居宅介護支援事業所が併設されており、羽島市南部の高齢者福祉と在宅介護を支える拠点となっています。

私が担当する部所はデイサービスとショートステイで、希望者への個別機能訓練や集団体操を実施しています。デイサービスの対象者は大腿骨頸部骨折にて回復期リハビリ病院から退院されてきた方、胸腰椎移行部の圧迫骨折後や変形性膝関節症等で算定日数の加減で病院でのリハビリが実施出来なくなった方、通院手段が無くなりリハビリを受けられなくなった人が多くおみえになり、リハビリ難民の最期の砦としての役割も担っています。ショートステイの対象者は、急性期での治療を終え、自宅に帰る前にもう少し機能を上げていきたいという方が多くみられ、回復期リハビリ病院のような役割も担っています。今後当苑のような社会福祉施設にPTやOT等のリハビリ専門職を配置されるようになれば、慢性期においても専門性の高いリハビリが提供出来ますし、リハビリ難民の問題も解決していける可能性が高いと感じています。

当苑に就職して早いもので10年が経ちます。その間利用者が元気になられたことを共に喜べたという経験が何より嬉しかったですし、仕事へのモチベーションに繋がっています。また、周りの仲間にも恵まれ、お陰様で楽しく仕事に取り組む事が出来ています。理学療法士の仕事は生活の糧を得る手段だ

けでなく、社会や人から喜ばれるものであり、それが最大の魅力であると感じています。理学療法の仕事に巡り会えて良かったですし、この仕事が私の天職だと今回の投稿を機に改めて知る事が出来ました。目指せ生涯現役。

NO MUSIC NO LIFE

岐阜清流病院

浅 野 雅 弥

まず、「会員の声」の執筆依頼をいただき、誠にありがとうございます。執筆という、貴重な機会をいただいたことに感謝いたします。

早いもので、私は理学療法士7年目となりました。当院のリハビリテーション療法課に入職された10名の方を見ていると、私が1年目で入職した時のことを思い出します。リハビリをされている先輩の姿を見て、「自分もこういう理学療法士になりたい」と思いました。7年目の今、後輩や新入職員が私の姿を見て、少しでも何かを感じてもらえたら良いなと思いながら、今後も日々努力していこうと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がパンデミックとなったのが2020年3月、本日まで約2年弱の年月が経ちました。パンデミック前の2020年1月頃から、よく繰り返し聞いてきたのが「不要不急」という言葉です。「不要不急の外出は控えましょう」の呼びかけでスポーツやライブ、その他のイベントの中止や延期が多々ありました。広辞苑によると不要不急とは「どうしても必要というわけでもなく、急いである必要のないこと」と記載されています。不要不急の基準は何か、どれが違うのかなどの線引きはされておらず、簡単に線引きができるものではないと思います。その不要不急の中で挙げられたものの1つに音楽がありました。私は邦楽ロックバンドが好きで、コロナ前は年に何回もライブや音楽フェスに参加し県内県外を移動していました。このコロナ禍で、ライブが中止や延期となり、中にはチケットは購入したが自粛を選ぶことも何度もありました。「NO MUSIC NO LIFE」という言葉があります。つくづく、私にはこの言葉が当

てはまるな、と思っていました。誰かが思う不要不急は、自分にとっては必要不急かもしれない。誰にも、そんな何かがあるのではないかと思います。みなさんもその何かを大切にしてほしいと思います。

このコロナ禍がなければ、自分にとって音楽が必要不急であったと実感できなかったと思います。

近日では、春のセンバツ高校野球が甲子園球場で開催され、ライブや音楽フェスなどのイベントも制約の中で徐々に開催が増えてきています。世の中の動きが少しでもコロナ前の状態に近づき、不要不急の言葉が減るような社会になることを望みます。

最後に、会員の皆様、ご家族様が健康で暮らせるように、1日でも早い収束・終息を心よりお祈り申し上げます。

コロナが私に与えた影響

関中央病院

蒲 彩 華

新型コロナが流行し始めてからしばらくして、私はInstagramをやめました。その理由は、SNSが自分にとって悪影響であると感じたからです。新型コロナが流行し始めてからは自粛生活をするようになったため、自分自身がSNSに投稿をすることが少なくなりました。その中で、充実した投稿を見ると、嫉妬の感情や嫌悪感を抱くことが多くなりました。他人の投稿に対して、素直に「いいね!」と思えない自分も嫌になりました。そして、SNSでしか関わることがない人の近況を知る必要はないし、知られる必要もないと思うようになり、やめることに至りました。やめてからは、自分の投稿にどれだけ反応あるかを気にしたり、他人と比べたりすることがなくなり、スマホを見る時間自体が減ったので、大変満足しています。

自粛生活をするようになってから、読書をする時間を設けるようになりました。最近読んでいる本は、スウェーデン生まれの精神科医、アンデシュ・ハンセン著の「スマホ脳」です。この本には、SNSが人生の満足度を下げると記してあり、これはまさに私が身をもって体験したことでした。また、脳は「新しい情報」と、何かが起こる「かもしれない」とい

う「期待」が報酬システムを激しく作動させるため、この本の中で「スマホは私たちの最新のドラッグである」、「SNSは私たちの脳のハッキングに成功した」などと表現されているところがあります。他人と会話をするときや食事の際に、スマホがテーブルに置いてあると、手に取らなかったとしても、置いていなかった人と比較して会話が楽しくなかった、食事が美味しくなかったと感じるそうです。報酬を得られると分かっている魅力的なスマホに、興味を向けるようドーパミンが指示するからです。

この本には、他にも興味深いことがたくさん書いてあります。私は、本を読む事で「新しい情報」を得て、私の脳を喜ばせてあげたいと思います。

仲間への感謝

大垣市民病院 医療技術部

リハビリテーションセンター

平 山 晃 介

伊吹山の雪は少なくなり今年も桜の季節がやってきた。この季節が来る度に、はじめて大垣にやってきた頃を思い出す。長崎の温暖な気候とは違う肌寒さが残る大垣の春は未だに慣れない。気候には慣れない私にも、この15年で温かな同僚、多くの岐阜県の理学療法士の先生方と出会う合うことができた。

はじめの1年間は当院の安藤医師、理学療法士の片岡先生のもと、ほぼ毎日超急性期領域の呼吸リハに明け暮れた。当時はまだ、この領域での呼吸リハは全国においても浸透しておらずエビデンスが不足していた頃だったので試行錯誤しながら、時には冷や汗を流しながら呼吸リハを実施したことを思い出す。学会では多職種から「理学療法士さんが集中治療室でなにをするの?」とよく笑われた。同時に発表後のレスポンスの大きさにも驚かされたことを覚えている。また、3年目以降には当院の呼吸器病棟や呼吸器外来患者さんも担当させていただく中で多くの同僚と臨床業務に切磋琢磨した。時には、臨床業務以外での指導やアドバイスを頂く中で社会人としても成長することができたと感じている。

外部での活動においてもたくさんの先生方とのつ

ながりをもつことができた。中部学院大学の三川先生を中心とした、内部障害の月1回の勉強会（現在の岐阜県呼吸循環代謝リハビリテーション研究会の前身）は2014年からはじまり、数多くのメンバーに支えられ今年で9年目となる。ちなみに、コロナ禍となってもリモートで月1回、英文抄読、テーマ別講義や予演会などの勉強会は継続している。コロナ禍以前は、勉強会だけでなく年1-2回の親睦会があった。岐阜駅周辺の居酒屋で他施設の先生方と集まり、雑談や日頃の臨床業務についての楽しい話しは有意義な時間となった。また、2018年からは岐阜県呼吸循環代謝リハビリテーション研究会を立ち上げ、年1-2回の実技講習会などを含めたセミナーも実施した。仲間との練習、打ち合わせやリハーサルを協力して行うことでセミナーを無事に終えることから得られた達成感は、私の特別な財産となった。

岐阜にきた15年間を振り返ると決して一人ではなく、必ず傍には仲間がいた事に気づかされた。多くの仲間に感謝しつつ、非常に微力ではあるが呼吸リハを通して、これからも患者さんと岐阜県への理学療法の発展へ尽力していきたい。



令和 4 年度 賛 助 会 員

会 社 名 ・ 施 設 名	電 話 番 号
有限会社 加納ビジネス 〒 500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町 2-32	TEL 058-273-3007(代)
有限会社 中部義肢 〒 486-0911 愛知県春日井市西高山町 3 丁目 16-12	TEL 0568-34-7143
岐阜保健大学 〒 500-8281 岐阜県岐阜市東鶯 2 丁目 92 番地	TEL 058-274-5001
東名ブレース株式会社 〒 489-0979 愛知県瀬戸市坊金町 271	TEL 0561-85-7355
株式会社 松本義肢製作所 〒 485-0805 愛知県小牧市大字林 210-3	TEL 0568-47-1701
学校法人誠広学園 平成医療短期大学 〒 501-1131 岐阜県岐阜市黒野 180	TEL 058-234-3324
中部学院大学 〒 501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘 2 丁目 1 番地	TEL 0575-24-2211
株式会社 ケア 〒 502-0848 岐阜県岐阜市早田本町 1 丁目 9 番地	TEL 058-233-7981
株式会社 大塚製薬工場 〒 500-8856 岐阜県岐阜市橋本町 2-20 濃飛ビル 9 階	TEL 058-227-3811
株式会社 gene 〒 461-0004 愛知県名古屋市東区葵 1 丁目 26 番地 12 号 IKKO 新栄ビル 6F	TEL 052-325-6611

編集後記

~~~~~

らいちょう 141号作成にあたり、巻頭言・会員の声の原稿依頼を快諾して、ご協力くださいました長谷部 武久氏、平子 義信氏、浅野 雅弥氏、蒲 彩華氏、平山 晃介氏に感謝致します。  
この場を借りて、お礼申し上げます。

新入職員の皆さま、入職おめでとうございます。

コロナ禍となり歓迎会などの親睦行事が行えず、職員同士の交流を深める機会も『新しいもの』を考えていく必要があると感じております。そんな中でも、先輩や後輩、同僚とのコミュニケーションを大切に、お互いに刺激し合いながら成長できる関係性を深めていきたいですね。学術集会で発表することも、参加することも関係を深める最高の場です。私もふれあうことのできる場に積極的に参加していきます。

(Y. M)

~~~~~

広告掲載のご案内

士会ニュース広告掲載のお問い合わせ・申し込みにつきましては
広報部までお願いいたします。

広報部

〒502-0812 岐阜市八代 1-7-1

岩砂病院・岩砂マタニティ

TEL：058-231-2631 FAX：058-294-1480

E-mail：gptakouhou@gmail.com

~~~~~

2022. 5. 24

発行人：公益社団法人 岐阜県理学療法士会

会長 村 雲 憲

事務局：〒500-8384 岐阜市藪田南1丁目11番12号

岐阜水産会館 4B-4号室

TEL・FAX (058) 277 - 6166

編 集：矢代真也

印刷所：(有)いすくら

~~~~~